

Published by the Buddhist Churches of America,  
Southern District Ministers' Association with  
funding from the Southern District Council.

### Southern District Temples

- Arizona Buddhist Temple
- Buddhist Church of Santa Barbara
- Buddhist Temple of San Diego
- Gardena Buddhist Church
- Los Angeles Hampa Hongwanji Buddhist Temple
- Orange County Buddhist Church
- Oxnard Buddhist Temple
- Pasadena Buddhist Temple
- San Fernando Valley Hongwanji Buddhist Temple
- Senshin Buddhist Temple
- Venice Hongwanji Buddhist Temple
- Vista Buddhist Temple
- West Los Angeles Buddhist Temple



**Buddhist Churches of America**

<http://buddhistchurchesofamerica.org>



# 御文章 ごぶんしょう

蓮如上人の願い



渡辺 正憲  
オックスナード仏教会

蓮如上人は、応永二十二年（1415）に本願寺七世存如上人の長男として誕生し、十七歳で得度し、諱（いみな）を兼寿と称しました。幼少の時に生母と離別し、不遇な境遇に甘んじながら青年期を過ごしましたが、長祿元年（1457）、蓮如上人が四十三歳の時に本願寺八世を継職されました。現在の浄土真宗の隆盛を語る上で蓮如上人のご功績はまことに大きいと言えます。

て、門信徒に向けて書かれた多くの手紙は、彼らの信仰の手本となりました。これらの蓮如上人のご努力によって、民衆の教化が大いに促進され、教団の復興が果たされました。

現在でも、お勤めの一環として御文章は読まれますが、よく知られているものに「聖人一流章」があります。この御文章には、浄土真宗の大切な教えが要約されています。「聖人一流の御勸化（ごかんけ）のおもむきは、信心をもつて本とせられ候ふ。そのゆゑは、もろもろの雑行をなげすめて、一心に弥陀に帰命すれば、不可思議の願力として、仏のかたより往生は治定せしめたまふ。その位を『一念發起入正定之聚（いちねんぽつきにゅうしょうじょうしじゅ）』とも釈し、そのうへの称名念仏は、如来わが往生を定めたまいし御恩報尽の念仏とこころうべきなり。あなかしこ、あなかしこ。」

このお手紙の前半には、「信心」の大切さが説かれています。蓮如上人は、他のお手紙の中でも浄土真宗における信心の重要性を繰り返し説かれています。ここでも親鸞聖人の教えの根本は信心だといわれています。浄土真宗における信心とは、阿弥陀仏の、五劫という計り知れない時間をかけて成し遂げられた、どのようなものであろうとも漏らすことなく必ず救うという真心からの願いを深く信じて疑わない心です。その尊い阿弥陀仏の願いをありのまま受け入れることが信心であり、その時、すでに私たちが救いの中に包まれているという安心感を得ることができるわけです。それを「正定之聚（必ずさとりを開いて仏になることがさだまった仲間）」に入ることができた証（あかし）であるとし、その後は、感謝の気持ちのあらわれとして阿弥陀仏の名前をほればれと呼ばせてもらえばよいと言われたわけです。

当時、文字も知らないような人たちにも、この蓮如上人のお手紙はよく理解できたことと思います。このように、御文章によって、浄土真宗の教えはのちの世代へと連綿と伝えられてきました。ですから、御文章には、私たち門信徒がこれからも後世に相続していくべき、大切な浄土真宗の教えと蓮如上人の願いが込められているわけです。